登録医ニュース

絆

宮城社会保険病院

2011年11月　第11号

登録医療機関(11月現在)
151施設168名の先生方に
ご登録いただきました。

発行 ： 仙台市太白区中田町字前沖143番地
地域医療連携室
TEL　022-306-1740　FAX　022-306-1741
ホームページ　http://www.miyagi-shaho.jp/

ご挨拶

院長　　石井　元康

東日本大震災から8カ月が経ちました。多くの先生方は以前の診療に戻られたと伺っております。被災地の病院では建物被害や医師数不足でまだ困難な状況が続いているようですが、当院は先生方のご協力を頂きながら、現在は震災前の診療体制で日々の診療を行っております。

来年度の診療報酬改定議論が始まっているようです。地域医療連携推進が議論の基本になることは従来通りと思います。11月には新しいC型肝炎治療薬が承認される予定です。それに伴い新たな医療連携が必要とされます。C型肝炎診療のみでなく、一般的に連携の幅がさらに広がっていく傾向があるように思います。

当院の医療機器を先生方に活用して頂くように、平成20年2月のCT更新時にご案内申し上げました。一般造影CT検査のみでなく、冠動脈CT検査も多くの先生方にご利用頂いておりますことを感謝申し上げます。このたびはMRIを更新することにしました。脳神経・整形外科領域には必須ですが、最近PETと同様に全身の腫瘍スクリーニングにMRIを活用する動きも出てきました。悪性腫瘍のような細胞密度が高い組織で拡散運動が低下するため、拡散強調画像を撮影することで腫瘍イメージを作ることが可能になってきました。MRIは色々な応用が可能だと思いますので、先生方にたくさんご利用いただければ幸いです。

これから寒さが厳しくなるとともに年末の忙しさが加わってくると思います。大変だった一年を締めくくるにあたり、先生方におかれましてはお体に十分ご留意なさって、元気に今年を締めくくられることを祈念申し上げます。

地域医療連携室講演会報告

H23年10月27日開催

「東日本大震災により避難所生活を余儀なくされた
オストメイトに対する巡回診療の経験」
創傷管理室　皮膚・排泄ケア認定看護師　　大網　さおり先生

「震災後の地域におけるNST活動の必要性」
NST・管理栄養士　　伊藤　有紀先生

「東日本大震災で被災した開業医の災害医療“避難所での高血圧を含めた慢性疾患及びヘドロ細粒気管支炎の治療経験”」
医療法人鳴瀬中央医院　院長　齋藤　雄康先生

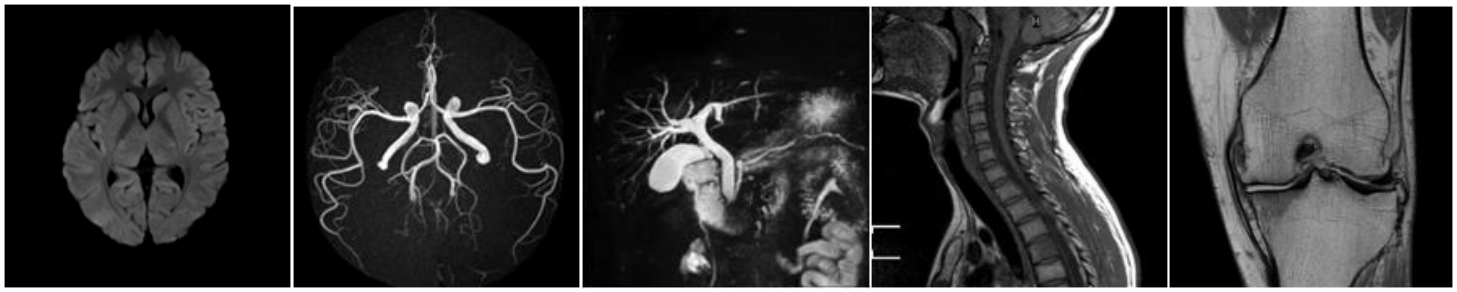
院内78名、外部11名の出席をいただきました。

MRI 装置更新のお知らせ

当院では、MRI 装置を最新の機種に更新し、平成 24 年 1 月より稼働を予定しております。

新装置は磁場強度が 1.5 テスラと、これまでの 3 倍の磁場強度を有することにより、従来の約半分の検査時間で高精細な画像を得ることができます。また、造影剤を使用しない血管の描写（非造影）がこれまでよりもより鮮明になります。さらに、整形外科領域では、脊椎（首・腰）や肩・膝などの各関節の検査も今まで以上に微細な部分まで画像化することが可能になります。撮影法など希望がございましたら、遠慮なくご相談ください。

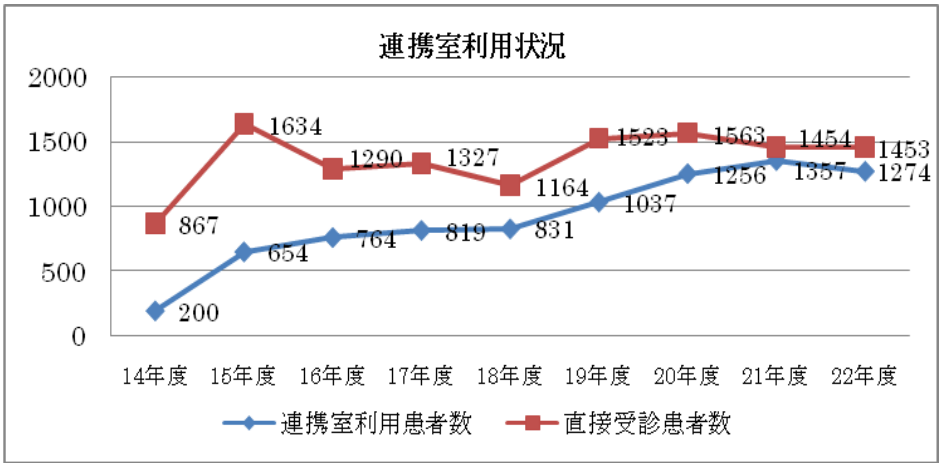
以上のように、磁場強度の向上がもたらす影響は診断の面で大きな効果を発揮しますが、安全に対する対応もいっそう注意する必要があります。心臓ペースメーカーを装着している場合や過去に手術などで体内に金属がある場合はこれまで同様に検査ができません。また、貴金属を装着しての検査や小さなホックなども画像の乱れや重大な事故の原因になります。　安心・安全に検査を受けていただくために、みなさまのご協力をお願い致します。

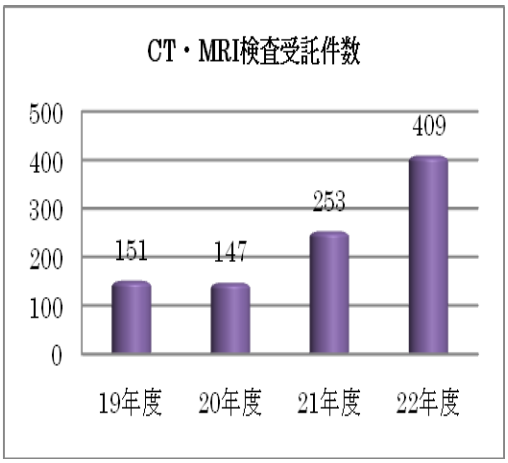


◎MRI 受託休止期間　平成 23 年 12 月 17 日（土）～平成 24 年 1 月 15 日（日）まで

MRI 検査受託再開日　平成 24 年 1 月 19 日（木）

連携室利用状況及び、CT・MRI 検査受託件数





土曜日循環器外来救急受け入れについて

毎週土曜日（祝日・年末年始を除く）

【時　　間】　午前 9 時から午後 12 時 30 分まで

【対象患者】　開業医の先生方からのご紹介患者様

【連 絡 先】　病院代表　022(306)1711

〈事務日直担当者へ循環器紹介患者とお伝え下さい〉

循環器医師にお繋ぎ致します。是非ご利用ください。

ご不明な点がございましたら、遠慮なく地域医療連携室にお問い合わせ下さい。

平日：午前 8 時 30 分～午後 17 時まで　地域医療連携室　直通 022-306-1740